

低入札価格調査の実施概要

工事名：令和7年度防災情報ネットワーク事業 浅瀬石川地区他防災情報システム更新工事

調査の対象となった業者名：株式会社 旭商会仙台店

調査項目	内 容
(ア) その価格により入札をした理由	資材購入先からの見積もりの結果、当該価格での施工が可能と判断したため。
(イ) 契約対象工事付近における手持工事の状況	該当なし（契約対象工事の工事費の縮減に寄与するものがない。）
(ウ) 契約対象工事に関する手持工事の状況	該当なし（契約対象工事の工事費の縮減に寄与するものがない。）
(エ) 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との地理的条件	該当なし（契約対象工事の工事費の縮減に寄与するものがない。）
(オ) 手持資材の状況	該当なし（契約対象工事で使用する予定の手持ち資材がない。）
(カ) 資材購入先及び購入先と入札者との関係	資材購入先から材工共の見積を徴集し計上している。入札者と資材搬入先の取引実績（年数）は5年から32年である。
(キ) 手持機械数の状況	該当なし（契約対象工事で使用する予定の手持ち機械がない。）
(ク) 労務者の具体的な供給見通し	自社労務者での施工を予定しており、履行に必要な73.5人を計画している。
(ケ) 経営内容	保証会社及び契約保証を引き受けている金融機関に確認したところ、当該入札者の契約保証の受付については通常の扱いで手続きしている（経営内容に特段の問題はないと判断している）旨の回答を得た。
(コ) 建設副産物の搬出他	該当なし（契約対象工事で搬出する予定の建設副産物がない。）
上記(ア)～(コ)までの事情 聴取した結果についての 調査検討	入札者は、見積を徴集し直接工事費を積み上げている。 直接工事費は、施工可能な金額を計上していると認められる。 共通仮設費は率算定し、現場管理費及び一般管理費は社内検討により必要額を積み上げ計上している。 特に現場管理費は、自社の技術者給与手当（配置予定技術者）、保険料、法定福利費等の必要額を計上していることを確認した。 以上より、これまでの実績により培った技術と施工能力に基づき意欲を持って入札していること、必要額を計上していること等から重点監督のもとに所要の施工、現場の安全管理、必要な保険等の加入が行われ工事を完成できると認められる。